

トップインタビュー

The way forward

**変動著しい各国の状況を見極め、
ニーズに柔軟に 대응続ける。**

第67期の売上は前期比7.8%増の343.7億円、営業利益は13.6%増の13.9億円となりました。計画目標には一歩およびませんでした。国内外で日系自動車メーカーの生産台数が振るわなかった当期の市場で、変化に柔軟に対応しながら一定の成果を出すことはできたと考えています。部門別では、特殊潤滑油部門はダイカスト油剤の売上が鈍化したものの、データセンター向けの投資が回復し、ハードディスク表面潤滑剤の売上が大幅に増加。また、切削油剤の新規顧客獲得などにより売上は前期比12%増に。ホットメルト接着剤部門では、中国でのフィルターおよび衛生材用途が好調に推移した一方で日本での売上が減少し、部門全体の売上は前期並となりました。素材部門は流動パラフィンの需要が上向き、売上は前期比増となりました。

この結果を踏まえ、第68期に取り組むべきは、大きく3点です。1点目が、原材料高騰の影響から落ち込んだ日本およびインドネシア市場におけるホットメルト接着剤事業の収益性を改善すること。2点目が、米国CROSS社買収によるシナジー効果を発揮し収益を高めることです。生産移管を行ったことによる生産コスト削減や作業効率の向上、米国で製造したシリコンのグローバル展開などの取り組みを確実に進めていきます。そして3点目が、サステナビリティ経営の強化です。第67期ではMoresco Green SX (MGS)* 製品の製品開発は順調だったものの、日系自動車メーカー向けダイカスト用離型剤などMGS製品の主力ラインナップの販売数が想定より伸びませんでした。MGS製品の2026年度売上比率40%という目標達成を、製品開発と拡販の両面からめざします。また、直近の課題である米国関税の影響についても、今後見極めていく必要があります。

中長期的には現在、エリア別のR&D体制を強化しており、市場の特性やニーズに応じた高付加価値製品を的確かつ迅速に展開することでエリアごとの存在感を高めています(中面参照)。さらに、ナノエマルジョン技術を活用した化粧品原料やペロブスカイト太陽電池向け封止材の開発といった新事業の創出も着実に進め、Morescoの新たな価値創造を加速させていきます。

*製品の原料調達から廃棄までのライフサイクル全体を評価し、当社の7つのマテリアリティ「目指す取り組み」への貢献要素が特に大きく、環境への負荷を低減する製品を「Moresco Green SX」として認定

株式会社 Moresco

代表取締役社長 CEO 両角 元寿



in Thailand

タイから、東南／南アジア全域へ、
リサイクルベースオイルの展開を推進中。

市場の現状

景気の減退や自動車ローンの審査の厳格化などにより、自動車生産台数が下落。競合製品との価格競争も激化する中で、当社は廃油を再利用した環境性の高いオイルによりMORESCOならではの価値を訴求し、シェア拡大を図っています。

MORESCOの研究開発

リサイクルベースオイルからダイカスト油剤や金属加工油などを生産。原料を国内調達できるため、運送時のCO₂排出を抑制します。サステナビリティ重視が進む市場で環境性を高く評価いただいております。東南／南アジア全域への展開も検討中です。

今後の展望

好評のリサイクルベースオイル使用製品の拡販に加え、タイ国内の水質汚染の原因にもなっている食用油の再生品の使用など、ニーズに即した製品開発も進め、環境負荷低減に一層貢献していきます。



MORESCO (THAILAND) CO., LTD.



莫莱斯柯(浙江)功能材料有限公司

in China

一体化鑄造用離型剤のラインナップを
強化し、市場での存在感を向上。

市場の現状

中国では、内燃機関を全く使用しないNEV (New Energy Vehicle)の生産が、自動車市場の40%超を占めます。現場の一体化鑄造技術も日々進化しており、金型の温度分布の広さや、鑄造部品の複雑な形状にも対応できる高性能な離型剤が求められています。

MORESCOの研究開発

市場で求められる基本性能を備えていることはもちろん、アルミニウムやマグネシウムなど幅広い金型材料に対応でき、金型寿命の延長や騒音減少といった多彩なメリットを提供できる少量塗布型離型剤のラインナップを拡大。

今後の展望

ダイカスト用離型剤のリーディングカンパニーとして、巨大化する鑄造機や複雑な金型にも迅速に対応していきます。また、米国のグループ会社CROSS社と連携し、ウレタン・タイヤ用離型剤も展開。中国No.1の離型剤メーカーをめざします。

in USA

市場のニーズに柔軟に対応できる
体制を強みに、シェア拡大へ。

市場の現状

新政権が政策方針を大きく転換している中で、当社としては現地に根ざす企業としての事業拡大がこれまで以上に重要になっています。その点、2023年に現地企業のCROSS社を買収したことが大きなプラス材料となっています。

MORESCOの研究開発

現地の多様なニーズに対応できるダイカスト用離型剤を開発・提供するため、CROSS社のノウハウを強みとして主原材料であるシリコーンの自社開発・生産に挑戦。既存原材料からの配合設計にとどまらず、シリコーンの開発から行うことで、お客様の求める性能に一層きめ細かく対応できるようになり、コスト競争力が高まっています。

今後の展望

MORESCO JAPANをはじめとする他拠点にシリコーンを供給することでグループ全体の収益性を向上。また、CROSS社による環境性に優れたウレタン用離型剤「モールドリリース」のグローバル展開も進めます。



CROSS TECHNOLOGIES N.A. INC.



本社・研究センター

in Japan

リサイクル技術をさらに向上させ、
サーキュラー・エコノミーを推進、展開。

市場の現状

国策としてサーキュラー・エコノミーが推進され、マテリアルリサイクルへの関心が高まっています。日本は世界でも特に環境意識が高く、当社も最先端の環境技術、および循環の仕組みづくりに挑んでいます。

MORESCOの研究開発

現時点でリサイクルできるのは、水-グリコール系難燃性作動液「ハイドールシリーズ」のみですが、25年1月に冷熱媒体「ナイブライン」について産業廃棄物広域認定を受けるなど、その応用範囲を拡大中。それ以外の製品についても、技術上・法律上の課題をクリアするための検討を進めています。

今後の展望

マテリアルリサイクル活動、およびリサイクル技術の向上を進めながら、2030年度までに具体的な目標を設定。GHG排出削減や環境保護に貢献していきます。

MORESCO 年間トピックス

9月 | 株主様向け見学会を開催しました

28名の株主様および同伴者様に向けて、会社説明、および社内見学を行いました。製品や装置を直接ご覧いただく中で数多くのご質問をいただき、ご関心の高さを改めて感じることができました。



10月 | ペロブスカイト太陽電池の実証実験に参加しました

桐蔭横浜大学の宮坂 力特任教授が行うペロブスカイト太陽電池の実証実験で、当社の封止材を使用した試作品が大阪府高槻市の農園に設置されました。当社の封止材はバリア性に優れるため、太陽電池が雨に濡れても安定して電力を供給できます。



1月 | 真庭高等学校の農業用ハウスに有機薄膜太陽電池(OPV)を設置

大阪大学産業科学研究所、岡山県立真庭高等学校、岡山県真庭市との共同プロジェクトで、同校の農業用ハウスにOPVを設置。エネルギーの地産地消を行う新しい営農型太陽光発電をめざします。



1月 | 「ENEX2025」の核融合セミナーで当社従業員がパネリストとして登壇

「ENEX2025」で開かれた核融合セミナーに当社従業員が登壇。約300名に向けて、当社の耐放射線性潤滑剤や核融合関連装置の長期安定稼働に必要な技術的サポートについてディスカッションしました。



Close up MORESCO 1

18nmの微小ナノエマルジョン配合「イリグラシア」のオンライン販売開始

MORESCO初の化粧品ブランド誕生!

Irigrasia



Point 1

独自のナノシステムによる
驚きの浸透性※1

Point 2

安定型レチノール※2を
ナノ化して配合

Point 3

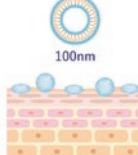
低刺激※3で
幅広い方が使用可能

数年にわたる研究開発により生まれた当社のナノエマルジョン技術。「イリグラシア」は、ナノエマルジョン技術を活用した当社初のBtoC商品となる化粧品ブランドです。今春、化粧水と美容液を販売開始しました。高吸収型のナノエマルジョンが角質層に浸透していき、肌の調子を整えます。一方で、現在開発に注力しているのは肌へ浸透しにくい非浸透型ナノエマルジョン。紫外線吸収剤など肌への刺激につながりうる成分を、この非浸透型のナノエマルジョンに閉じ込めることで、肌への負担を回避するとともに微細な隙間にムラなく広げることで日焼け止め効果を高めることもできます。現在は国内でのPRと販売、さらに新製品としてサンスクリーンの販売を計画中です。

「イリグラシア」の
ナノエマルジョン



化粧品分野で
話題のリボソーム



一般的なエマルジョンよりはるかに小さく、さらに粒子径が揃っていることも特長。従来は乳化粒子が大きいことで白濁していた見た目も、ナノエマルジョン化すると、均一で透明になる。そのため、パッケージ越しでもクリアな印象を伝えられる点も高評価。



Instagram



オンラインショップ

※1 角質層まで ※2 整肌成分(パルミチン酸レチノール) ※3 スティンギングテスト済

Close up MORESCO 2



省エネルギー



環境保全



作業環境改善

水溶性少量塗布型離型剤「MQシリーズ」の紹介

MGS製品売上比率40%達成へ、前進中!



水溶性少量塗布型離型剤

Point 1

現場の廃水ゼロに貢献

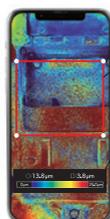
Point 2

電力使用量および
CO₂発生量を60%削減

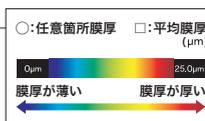
Point 3

騒音抑制により
労働環境を改善

主に日本で展開しているMORESCO Green SX (MGS) 製品の代表的な製品、水溶性少量塗布型離型剤「MQシリーズ」は、塗布量の圧倒的な少なさが特長。離型剤の使用にともなう廃水をゼロにすることができます。また、離型剤を均一に塗布するためのエアブローの使用時間を減らせるため、電力使用量、CO₂発生量も大幅に削減でき、同時に工場内の騒音も減少します。これらの高い環境性能と機能性を活かし、地球環境と工場環境の両面の改善につながるメリットを訴求することで、市場での拡販につなげていきたいと考えています。



任意箇所膜厚取得



独自のスマートフォン用アプリをインストールして金型を撮影すると、膜厚を測定。離型剤の塗布状態の確認や、ロボットティーチングを含む初期設定条件の設定にも活用することができる。

サイクル中の環境騒音データ

	最小値	最大値
離型剤塗布	78dB	83dB
エアブロー	86dB	91dB
射出〜キュアリング	76dB	81dB
その他	76dB	81dB

85dB以上の騒音に長時間さらされると、騒音性難聴のリスクが高まると言われている。MQシリーズはエアブローのサイクルタイムを60%短縮し、騒音軽減効果を期待できる。

主な連結財務指標

当連結会計年度におけるわが国経済は、経済活動の正常化へ向けた取り組みが進み、景気も緩やかな回復基調にあります。物価の上昇は続いており、製造業は力強さを欠いております。世界経済においては、米国ではトランプ政権による追加関税等の保護主義政策の強化が行われ、中国では物価の下落および消費の回復の遅れが続く、欧州・中東の地政学リスクの動向も懸念材料であり、先行きは依然として不透明な要因が存在しております。

このような状況のもと当社グループにおいては、国内外での販売数量の増加および販売価格の是正により売上高は34,374百万円(前期比7.8%増)となり、営業利益は1,391百万円(前期比13.6%増)となりました。一方で、為替差益および持分法による投資利益の減少により、経常利益は1,821百万円(前期比0.3%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は1,013百万円(前期比21.1%減)となりました。

売上高と営業利益率



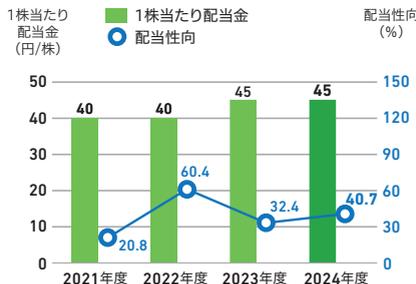
経常利益と経常利益率



海外売上高と海外売上高比率



1株当たり配当金と配当性向

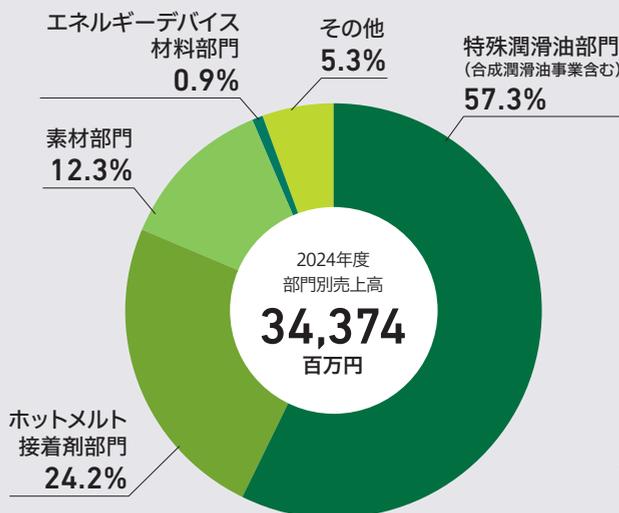


自己資本と自己資本純利益率(ROE)

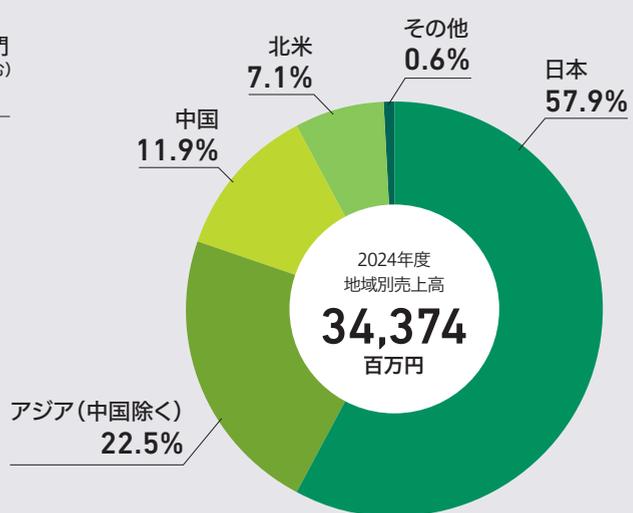


セグメント情報

部門別



地域別



株主優待のご案内

当社では、株主の皆様からの日頃のご支援に感謝するとともに、投資の魅力を高め、より多くの方々に当社株式を中長期的に保有していただくことを目的として、株主優待制度を実施しております。今後も株主の皆様の期待に応えるため、さらなる成長を目指してまいりますので、何卒ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

ご優待内容

保有株式数および継続保有期間	優待の内容
300株以上かつ継続保有期間3年未満	QUOカード3,000円分
300株以上かつ継続保有期間3年以上	QUOカード4,000円分

毎年2月末日現在の株主名簿に記載または記録された、当社株式3単元(300株)以上を保有されている株主様を対象といたします。
継続保有期間3年以上とは、2月末日および8月末日時点の株主名簿に同一株主番号で連続7回以上記載または記録されることといたします。

※300株未満の株式を保有されている株主様が300株以上に買い増しされ、2月末日時点で300株以上を保有されている場合、300株未満の保有期間も継続保有期間に含まれます。

贈呈時期

毎年5月下旬に事業報告書に同封して郵送いたします。
※本事業報告書に同封しております。

〈当社株式の保有期間の確認方法について〉

ご自身が保有されている株式の保有期間の確認をご希望の株主様は、以下の番号にお問い合わせの上、株式の異動に関する証明書の発行をご依頼ください。

【連絡先】三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

【電話番号】0120-094-777(通話料無料)

【受付時間】土・日・祝日等を除く平日9:00～17:00

会社概要・株式情報 (2025年2月28日現在)

■会社概要

商号 株式会社MORESCO
設立 1958年10月27日
資本金 2,118,294,000円
従業員数 372名

■本社および事業所

本社・研究センター 神戸市中央区港島南町
5丁目5-3
電話078-303-9010(代表)
支店 東京支店/大阪支店
営業所 名古屋営業所
工場 千葉工場/赤穂工場

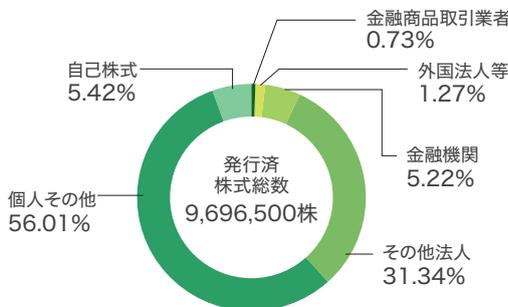
■役員構成 (2025年5月29日現在)

代表取締役社長CEO 両角 元寿
取締役専務執行役員COO 瀬脇 信寛
取締役常務執行役員CFO 藤本 博文
取締役執行役員海外担当 細見 次郎
取締役執行役員CTO 福田 勝人
社外取締役 酒井 浩志
取締役常勤監査等委員 本田 幹夫
社外取締役監査等委員 中上 幹雄
社外取締役監査等委員 中塚 秀聡
社外取締役監査等委員 富士ひろ子

■株式の状況

発行可能株式総数……20,000,000株
発行済株式総数……9,696,500株
株主数……15,872名

■株式所有者別分布状況



■大株主

株主名	持株数	持株比率
松村石油株	1,067,000	11.6%
コスモ石油LPリカンツ株	503,000	5.4%
MORESCO従業員持株会	422,420	4.6%
日本曹達株	365,000	3.9%
スターライト工業株	326,000	3.5%
株みずほ銀行	250,000	2.7%
株三菱UFJ銀行	250,000	2.7%
大阪中小企業投資育成株	209,600	2.2%
島貿易株	165,000	1.7%
協同油脂株	164,000	1.7%

※持株比率は自己株式(525,810株)を控除して計算しております。

【ご注意】

- ◎株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- ◎特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取り扱いいたします。
- ◎未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

株主メモ

■事業年度

3月1日～翌年2月末日

■期末配当金受領株主確定日

2月末日

(中間配当を行う場合)

8月31日

■定時株主総会

毎年5月

■株主名簿管理人および

特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

■ご連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社

大阪証券代行部

〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目
6番3号

TEL:0120-094-777(通話料無料)

■上場証券取引所

東京証券取引所

公告の方法

電子公告により行う

公告記載URL

<https://www.moresco.co.jp/ir/notice.php>

(ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは日本経済新聞に公告いたします。)

